

あした元気になる

平成22年
6月15日

40号



お笑い芸人 ホリさんによるものまねライブ



川原三恵子(Candy*Rose)さんによる歌と講演



ボランティアはづきの会への感謝状贈呈



開院15周年記念 第4回病院祭開催される
約2千200人のご来場

去る6月1日に開院15周年を迎えた当院において、6月5日(土)、「地域に支えられ15年(共に歩む未来へ)」をテーマに第4回病院祭が開催されました。昨年は、新型インフルエンザの影響で残念ながら中止となりましたが、今年は好天にも恵まれ、約2千200人の方にご来場いただき、大変な賑わいとなりました。

当日は、健康に関する催しとして、「救急に関する講演会」と題した、救急科統轄科長坂口医師による「こんなときどうする―家庭の救急医学―」、小児科統轄科長青沼医師による「家庭でできる子どもの急病対策」の講演をはじめ、骨密度・動脈硬化測定、がん個別相談、がん・すまいるサロンを行いました。また、各種体験として、AED、腹腔鏡手術操作、褥瘡(床ずれ)予防、嚥下食(飲み込みやすい食べ物)、錠剤分包、妊婦・高齢者疑似体験や、車いす展示、手洗いチェックを行いました。その他のイベントとして、病院長と話を、お笑い芸人のホリさんによる「ものまねライブ」、飯綱町在住のシャンソン歌手川原三恵子さんによる歌と講演、柳原小学校合唱団による合唱、ピースドッグとのふれあいや中越地震で活躍した十日町の救助犬によるデモンストレーション、日頃触れることのない院内各施設を巡る施設見学ツアー、ボランティアによるバザー、キッズコーナー、模擬店等を行いました。

ご来場された方はそれぞれにお目当ての催しに参加され、お子様からご年配の方に至るまで充分に楽しんでいただけたと思います。

今後とも、地域に開かれた病院を目指して信頼される病院となるよう一層のレベルアップを図ってまいります。

INDEX 2010.06.15 No.40

- P1 ● 開院15周年記念 第4回病院祭開催される
- P2 ● 写真で見える第4回病院祭
- P3 ● 長野市民病院 開院から15年のあゆみ
- P4 ● 開院15周年記念講演会(第10回市民健康講座)開催
● 看護週間(5月12日~13日)
- P5 ● 知っておきたい医療の知識(婦人科統轄科長 森 篤)
● みなさまの声
- P6 ● 登録医紹介(宮下整形外科)
● 出前講座等の保健衛生の啓発活動により県知事賞を受賞
● 貴重なご寄付をありがとうございました!
- P7 ● 新研修医の抱負
● 15年・10年勤続功労表彰行われる
- P8 ● 外来診療担当日一覧
● 看護師のための「再就職支援セミナー」開催のお知らせ



長野市民病院の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

病院機能評価認定病院

臨床研修病院



写真で見る第4回病院祭



柳原小学校合唱団



病院長と話そう



ボランティアによるバザー



「救急に関する講演会」
坂口先生



「救急に関する講演会」
青沼先生



十日町災害救助犬による
デモンストレーション



ピースドッグとのふれあい



キッズコーナー



AED体験



骨密度測定



模擬店



腹腔鏡手術操作体験



動脈硬化度測定



施設見学ツアー

長野市民病院 開院から15年のあゆみ



起工式…平成4年12月3日



長野冬季オリンピックへの協力…平成10年2月



突如子連れカルガモ現る…平成16年6月



当院にて映画「転校生」撮影…平成18年11月



救急センターテープカット式…平成20年4月1日

- 昭和51年 市制80周年記念事業の選定において、市民総合病院の建設が第1位となり、建設が決定
- 昭和52年 「長野市医療施設整備協議会」設置
- 昭和54年 「市民病院建設基金条例」制定
- 昭和60年 「長野市医療施設調査研究委員会」設置
- 昭和62年 「長野市公的医療施設建設審議会」設置
- 平成2年 「長野市公的医療施設基本構想検討委員会」設置
- 平成3年 「長野市民病院」開設許可、「財団法人長野市保健医療公社」設立
- 平成4年 基本・実施設計決定
「長野市病院事業の設置等に関する条例」制定
市民病院建設工事着工
※建設財源 総額213億円(積立基金111億円、国庫補助2億円、起債100億円)
- 平成7年 長野市民病院建設工事竣工(1月)
6診療科・150床で開院(6月1日)
- 平成8年 10診療科・254床、訪問看護ステーション開設(11月)
- 平成9年 16診療科・300床
- 平成10年 19診療科
- 平成12年 外来・手術部門等 増改築工事竣工(3月)
20診療科
- 平成15年 21診療科
CT・MR棟等増改築工事竣工(3月)
「(財)日本医療機能評価機構」病院機能評価Ver.4.0認定(10月)
臨床研修病院指定(10月)
- 平成17年 開院10周年(6月)
- 平成18年 財団法人長野市保健医療公社が長野市民病院の指定管理者となる(4月)
診断群分類別包括評価制度(DPC)導入(7月)
7対1看護体制取得(10月)
- 平成19年 地域がん診療連携拠点病院指定(1月)
新南病棟1階供用開始(4月)
- 平成20年 100床増床等 増改築工事竣工(2月)
22診療科・400床(4月)
救急センター開設(4月)
長野市民病院・医師会急病センター開設(4月)
- 平成21年 「(財)日本医療機能評価機構」病院機能評価Ver.5.0更新(1月)
28診療科(7月)
長野市民病院 中央棟、南病棟が長野市景観賞を受賞する(9月)
- 平成22年 地域がん診療連携拠点病院指定継続(4月)



工事風景…平成5年



開院5周年記念事業…平成12年6月3日



開院10周年記念事業(記念式典)…平成17年7月16日



ヘリポート稼働…平成20年1月15日



AED人命救助(勝山看護師表彰)…平成20年10月3日



長野市景観賞「長野市民病院 中央棟、南病棟」…平成21年9月4日

開院15周年記念講演会【第10回市民健康講座】開催

～若里市民文化ホールにて～



去る5月29日（土）、開院15周年記念講演会【第10回市民健康講座】を若里市民文化ホールにて開催し、「乳がん」をテーマに2部構成にて講演会を行いました。当日は好天にも恵まれ、465名に及ぶ記念講演会の名に恥じない大勢の方にご参加いただき、多くの質問も飛び交い大盛況でした。

第1部は、「長野市民病院での乳がん治療」と題して、『長野市民病院における乳がん治療の現況』を呼吸器外科・乳腺外科統轄科長西村秀紀医師、「リンパ浮腫と上手くつきあうために」を医療リンパドレナージセラピスト・緩和ケア認定看護師下谷由紀子看護師、『乳房再建手術について』を形成外科統轄科長滝建志医師による講演でした。西村医師の講演では、当院が開院して15年間の乳がん治療を分析した。手術は胸筋温存乳房切除術か乳房温存手術を選択している。過去乳房温存手術は403例、開院時年間1例（11・1%）から昨年64例（62・1%）と若年層を中心に右肩上がりが増加しており、今年は8割を超える状況とのこと。一方、胸筋温存乳房切除術の割合は開院時

より減少しているものの、乳房温存手術後の放射線治療を嫌う高齢者などを中心に近年は20〜30件で推移している。乳がん増加の要因として、食生活の変化による肥満を挙げ、50代後半から70代前半にかけて増加傾向にあり、BMIの数値が25・1以上の肥満該当者に多いとのこと。また、2割程度の検診受診率の低さを指摘し、乳がん治療は早期発見が最も重要であると強調した。下谷看護師の講演では、リンパ浮腫はリンパ節郭清を伴う手術の合併症であり、一旦発症すると治療することは難しいが、早期発見と適切なケアによって改善できることを実例をもとに説明した。リンパ浮腫と上手くつきあうためには、リンパ浮腫を理解すること、自分でできるケアを大切にすること、声を出して身近な医療者に伝えていくことだと強調した。滝医師の講演では、乳房再建の時期による分類や、種々の再建方法を具体例を交えながら述べた。乳房再建の方法は、欠損の大きさや年齢、妊娠出産の希望など幾つかの要因を勘案し、個別に選定される。病状や病期は乳房を再建してよいか否かに大きく関わるので、乳房再建を希望する場合はまずかかりつけの乳腺外科医に相談して下さいと語っていた。

第2部では、「特別講演会」と題して、『乳癌の標準治療2010―標準化と個別化の間にて―』を聖路加国際病院ブレストセンター長・乳腺外科部長中村清吾医師による講演が行われた。ここ数年で乳がんに対するホルモン療法感受性や、がん細胞の増加速度が抗がん剤の治療効果に影響することが分かり、乳がんの標準治療が変化してきているとのこと。乳がんの治療効果を予測する遺伝子検査では、がんの個別化が図れるようになり、10年後の再発リスクの程度まで予測できるようになっているとのこと。また、患者の価値観や生活状況を踏まえ、個々に適した治療法を探っていくことが重要であると強調されていました。

当日会場でご協力いただきましたアンケートでは、次回の講演内容や当院に対するご要望を多数いただきました。今後もこの市民健康講座を継続し、地域の皆さまへ保健医療に関する情報提供を行うとともに、地域がん診療連携拠点病院としての責務を果たしてまいります。



講師：聖路加国際病院 中村医師



講師：滝医師、下谷看護師、西村医師

「看護週間」 5月12日～13日

近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの5月12日の誕生日にちなみ、12日から13日まで「看護の心をみんなの心」をメインテーマとして、看護週間行事が行われました。午前の部は情報ラウンジで、看護・介護相談、血圧・体脂肪の各種測定を初め、メタボ対策として管理栄養士の話、乳がんの自己検診法、フェイスマッサージ、リラククス体操があり、市民健康ホールでは介護サロンが行われ、熱心な質問が飛び交いました。午後の部はエンターテインメントにて、ボランティアの方によるエレクトーンのコンサートがあり、聴衆の患者さまを和ませるような音色や、誰もが知っている曲や懐かしい曲が多数あり、大変盛り上がりしました。



婦人科統轄科長 森 篤し



子宮頸がん予防ワクチンについて

ここ20年で、子宮頸癌の原因がヒトパピローマウイルス(HPV)であることが確定されました。HPVの中でも約20種類が発がん性を持っています。HPVには性経験がある女性ならほとんどの人が感染します。感染してもほとんどの人ではウイルスを排除することができず、まれに長期にわたって排除できない人がいます。その場合に子宮頸癌が発生することがあります。

このHPVに対するワクチンが開発されました。日本では平成21年からグラクソ・スミスクライン社のサーバリックスが認可されました。このワクチンはHPV16型と18型の持続感染を予防します。計3回の筋肉注射が必要で、接種部位の痛みやかゆみはよく見られる副作用ですが、深刻な副作用はほとんど見られません。HPVに感染する前(すなわち初交前)に接種するのがもっとも有効です。したがって、11歳前後の女兒に接種するのがもっとも効果的と考えられています。成人女性に接種しても子宮頸癌の予防効果は認められています。

このワクチンの問題点は、
①このワクチンはHPV16、18型以外

のウイルス感染はブロックできないので、すべての子宮頸癌が予防できるわけではありません。したがって、ワクチンを受けた方も必ず子宮癌検診は受けていただかなくてはなりません。しかし、HPV16、18は70%の子宮頸癌の原因ウイルスですので、70%の子宮頸癌を予防できると予測されています。

②ワクチン接種後、その効果が何年続くのかまだはつきりしません。メーカーは22年は有効といっていますが、実証されたものではありません。今後の情報には注意を要します。
③まだ高価です。市民病院で接種していただいても、1回につき1万6千円かかります。

このように、いくつかの問題を持っているとはいえ、癌の予防ワクチンが開発され、その癌で命を落とすかもしれない患者さんの7割を救えるようになったことは画期的なことであると思えます。



みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重なご意見を集約して職員に回覧。できるところから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

については、大きい入れ物で対応することも検討してまいります。

情報 ラウンジにコピー機を設置して欲しいです。
(入院患者 男性)

◆回答 検討をいたしましたでしたが、管理面やコスト面で課題が残りますので、現状では設置が難しい状況です。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

家族が度々入院でお世話になり、十年間何回も病室へ行く時、いつも階段を使っていますが、踊り場に掛けてある写真がいつも同じなので残念です。(患者家族 女性)

◆回答 ご指摘有り難うございました。本館階段の踊り場の写真を交換いたしました。快適な療養環境に向けて今後も取り組みたいと思いますので、よろしく願います。

婦人科のトイレですが、清掃ができておりとても綺麗でした。小さいような気がしました。女性が多いので、大きい汚物入れがあればよいと思いました。(見舞者 女性)

◆回答 婦人科外来脇にあります女子トイレにつきましては、毎日定期的に清掃スタッフが清掃・点検を行っております。汚物入れにつきましても確認しておりますが、使用状況によってはご不便をかけることもあろうかと思えます。婦人科外来脇女子トイレには汚物入れの個数を増やして対処いたします。今後使用状況



宮下 整形外科

院長 宮下 謙一 医師
(長野市三輪5丁目43-16)
<http://www.miyashitaseikei.com/>



宮下整形外科院長の宮下謙一先生は、平成6年北里大学医学部を卒業され、同大学の整形外科に研修医として入局された後、北里大学北里研究所メデイカルセンター病院(北本市)、医療法人小林病院(小田原市)、西横浜国際総合病院(横浜戸塚区)、北里大学の助手を経て、平成15年4月に宮下整形外科の副院長として勤務を始めておられます。その後、平成21年1月宮下整形外科の院長に就任され、現在に至っておられます。

登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

でも患者さまが濡れないように大きな車寄せを造ったり、無垢の床で患者さまの足腰に負担を掛けないようにしたり等、色々な工夫をされたそうです。
日常の診療では、整形外科一般的に良質な医療を目指し、日々頑張っているそうです。
長野市民病院との関わりとしては、平成15年から当院の非常勤手術勤務をされ、患者さまの紹介・被紹介において、より厚い医療が提供できることに喜びを感じておられるそうです。長野市民病院の存在は誇りであり心強い存在。これからも末長くよろしくお願ひしたいとおっしゃって下さいました。



出前講座等の保健衛生の啓発活動により

県知事表彰を受賞

当院では、病院長、副院長はじめ、各科の医師が地域に出向き、さまざまな講演会を行ってまいりました。また、地域住民との交流と保健衛生の啓発活動を目的とし、「出前講座」と題しまして、病院スタッフによる出張講座を行ってまいりました。

この度、その功績が認められ、長野県知事より県知事表彰を受賞しました。



貴重なご寄付をありがとうございました！

株式会社本久さまより、がん化学療法で使用する治療用多目的チェア5台を、当院へ寄贈いただきました。



新研修医の抱負



(志摩 温)

2年目研修医の志摩温と申します。諸先生方をはじめ多くの職員の皆さまのお力添えのおかげで、市民病院での仕事にも慣れてまいりました。まだまだ未熟な部分が多々あり、また2年目ということ

で研修科が多く難しい面もありますが、一日でも早く、そして一人でも多くの患者さまに学んだ経験を還元できるよう頑張ります。ご指導よろしく願いいたします。



(浅井 裕子)

はじめまして、浅井裕子と申します。今年の4月から長野

市民病院で2年間研修させていただくことになりました。まだまだ分からないことだらけですが、指導医の先生方、スタッフの皆さまに教えていただき、また支えられて、毎日様々なことを学ばせていただいております。少しでも皆さまに貢献できるように頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。



(後藤 正博)

2年間長野市民病院で研修させていただきますことになりました。

した後藤正博と申します。育ちは岐阜県ですが、大学が信州大学という縁で卒業後も長野県でお世話にな

ることになりました。現在は消化器内科で研修させていただいております。社会人1年目で分からないことばかりですが、一人前の医師になれるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



(中島 舞子)

4月よりお世話になっております、研修医1年目の中島舞子です。須崎市で生まれ、今も自宅

から通勤しております。現在は神経内科で研修させて頂いております。患者さま方から多くのことを学ばせて頂くとともに、諸先生方をはじめ病院スタッフの皆さまの温かいご指導のもと、充実した研修生活を過ごしております。大好きな長野県の医療に少しでも役立てる人間になれるよう頑張りますので、2年間どうぞよろしく願いいたします。



(中村 晃)

はじめまして。今年度から2年間長野市民病院で研修させていただきますことになりました。

中村晃と申します。信州大学出身です。研修が始まって2ヶ月、医師としての知識、技能はもちろん病棟業務などできないこと、わからないことだらけで自分の至らなさを痛感する毎日ですが、先生方、スタッフの方々か

らこの2年間で少しでも多くのことを吸収できるように頑張っていきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



(北原 順一郎)

今年度1年間長野市民病院でお世話になります北原順一郎

です。出身は松本市で、信州大学出身です。今は分からないことが多く、自分の未熟さを痛感しております。そんな自分に周りの先生方やスタッフの皆さまが温かく指導してください。ことに感謝する毎日です。

これから患者さまと沢山向き合うことで知識、技術は勿論のことそれ以上のことを学び、少しでも信頼される医師になれるよう努力していきます。よろしく願いいたします。



(佐々木 奈津子)

今年度1年間、長野市民病院で研修させていただきますこと

になりました佐々木奈津子と申します。研修が始まって3ヶ月足らず、まだまだ知識も経験も不十分で患者さまのお役に立てるようなことは満足に出来ておりませんが、病院スタッフ皆さまの御指導をいただきながら、また患者さま一人一人が自分を育ててくださるといふ気持ちで毎日少しずつ成長できるよう努力して参ります。よろしく願いいたします。

「15年・10年 勤続功労表彰 行われる」

去る6月1日(火)、15年・10年勤続功労表彰が行われました。対象者は開院時から、または開院6年目前後から当院に勤務し、北部地域の中核病院として高度先進医療を提供すべく病院の発展に寄与されてきました。【15年勤続功労者数・職員76名、委託職員3名、10年勤続功労者数・職員13名、委託職員5名】



長野市民病院外来診療担当日一覧

救急科：救急センター 8:30から17:30担当医

記号の説明 ○：初診担当 ◎：完全予約制 ☆：午後のみ ◆：紹介のみ ▲：紹介、救急のみ
◇：第2・4火曜日は11:15まで △：第2・4火曜日11:15から ※：第3金曜日予約のみ ★：第3木曜日

診療科	月	火	水	木	金	専門(常勤医)	
内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 腎臓内科 内分泌・代謝内科	○原 悦雄 ○吉池 文明 平井 一也 越知 泰英 立岩 伸之 酒井/☆多田井 ○西井 裕	須澤 兼一 吉池 文明 ○市山 崇史 梅村 武司 ○丸山 隆久 ○彦坂 吉興 掛川 哲司	☆関 亜矢子 西井 裕 ○平井 一也 ○越知 泰英 丸山 隆久 ○笠井 俊夫 ○長谷部 修	○多田井/☆稲田 吉池 文明 市山 崇史 ○立岩 伸之 春日 広一 ○関 亜矢子 ○掛川 哲司 ★宮林 千春	彦坂/☆西井 ○酒井 貴弘 ○信大医師 (呼吸器内科) 原 悦雄 ○須澤 兼一 笠井 俊夫 長谷部 修	平井一也(呼吸器) 吉池文明(呼吸器) 市山崇史(呼吸器) 長谷部修(消化器・内視鏡) 原悦雄(消化器・内視鏡) 越知泰英(消化器・内視鏡) 立岩伸之(消化器・内視鏡) 須澤兼一(消化器・内視鏡) 関亜矢子(消化器・内視鏡) 彦坂吉興(消化器) 多田井敏治(消化器) 丸山隆久(循環器) 笠井俊夫(循環器) 酒井貴弘(循環器) 掛川哲司(腎臓) 西井裕(糖尿病・内分泌代謝疾患)	
	小児科	浅岡 麻里 野田 慶太	池野 一秀 浅岡 麻里	野田 慶太 青沼架佐賜	池野 一秀 野田 慶太	浅岡 麻里 青沼架佐賜	青沼架佐賜(発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀(免疫・アレルギー) 野田慶太(小児科一般) 浅岡麻里(小児科一般)
	外科 消化器外科	○成本 壮一 ○高田 学 沖田 浩一	○岡田 正夫 ○林 賢	田上 創一 宗像 康博 ○沖田 浩一 ○松村 美穂	○村中 太 ◆宗像 康博 林 賢	○得丸 重夫 関 仁誌 ○田上 創一	宗像康博(消化器・胃・大腸) 林賢(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 関仁誌(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 高田学(消化器) 沖田浩一(消化器) 松村美穂(消化器) 成本壮一(外科) 田上創一(外科) 村中太(外科) 得丸重夫(外科) 岡田正夫(外科)
	整形外科	松田 智 南澤 育雄 ☆山田 誠司 ○藤澤多佳子 ○中村 功	○山本 宏幸 ○野村 博紀 ○信大医師 ▲松田 智 ▲南澤 育雄	- 中村 功 ○山田 誠司 ○南澤 育雄 ○藤澤多佳子	☆中村 功 ○山本 宏幸 - ○藤澤多佳子 ○松田 智	○野村 博紀 ○山田 誠司 - ▲中村 功 -	松田 智(上肢・末梢神経) 南澤育雄(骨折・リウマチ性疾患・股関節) 中村 功(脊椎) 山田誠司(関節疾患) 野村博紀(整形外科) 山本宏幸(整形外科)
	形成外科	○滝 建志 濱 ゆき	◇滝 建志 △三島 吉登 ○濱 ゆき	○滝 建志 濱 ゆき	滝 建志 濱 ゆき	○滝 建志 濱 ゆき	滝 建志(形成外科) 濱 ゆき(形成外科)
脳神経外科 (脳血管内治療科)	○大屋 房一 荻原 利浩	○荻原 利浩 浅沼 恵	○大屋 房一 竹前 紀樹	○荻原 利浩 大屋 房一	○竹前/脳外科医師 (交替制につき、担 当日についてはお 問合わせ下さい。)	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害・頭痛・三叉神経痛) 大屋房一(脳血管障害・脳血管内手術・脳腫瘍) 荻原利浩(脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 浅沼恵(脳神経外科)	
皮膚科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實(皮膚科)	
泌尿器科	西澤 秀治 山岸 貴裕	山岸 貴裕 塚田 学	西澤 秀治 飯島 和芳	山岸 貴裕 塚田 学 ◆西澤 秀治	飯島 和芳 塚田 学 ※岡根谷利一	西澤秀治(悪性腫瘍・排尿障害・小児泌尿器) 飯島和芳(神経因性膀胱・悪性腫瘍) 山岸貴裕(泌尿器科一般) 塚田学(泌尿器科一般)	
眼科	風間 淳 -	風間 淳 千葉 玲奈	風間 淳 黒川 徹	風間 淳 -	風間 淳 -	風間 淳(眼科)	
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休診	野村 康	野村 康	野村 康(耳鼻いんこう科)	
放射線科	メタストロン外来	休診	休診	橋田 巖	休診	今井 迅(画像診断・I V R) 藤田 顕(画像診断・I V R) 橋田 巖(放射線治療)	
歯科・歯科口腔外科	○戸木田 怜子 田村 稔	○田村 稔 戸木田 怜子	○戸木田 怜子 田村 稔	○鎌田 孝広 -	○田村 稔 戸木田 怜子	田村 稔(口腔腫瘍) 戸木田怜子(口腔外科)	
神経内科	○小平 農 -	山本 寛二 ○小平 農	小平 農 -	○山本 寛二 -	山本 寛二 小平 農	山本寛二(神経内科) 小平 農(神経内科)	
呼吸器外科 乳腺外科	○山田/信大医師(交替制) 小沢 恵介	○有村 隆明 西村 秀紀	○西村 秀紀 山田 響子	○有村 隆明 西村 秀紀	○小沢 恵介 (交替制)	西村秀紀(呼吸器・乳腺・甲状腺) 小沢恵介(呼吸器・乳腺) 有村隆明(呼吸器・乳腺) 山田響子(呼吸器・乳腺)	
婦人科	○西澤千津恵 -	休診	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤(悪性腫瘍) 西澤千津恵(不妊症)	
緩和ケア内科	- ◎高橋 陽	◎大道 雅英 -	◎☆大道 雅英 -	◎☆大道 雅英 -	- ◎高橋 陽	大道雅英(緩和ケア) 高橋 陽(腫瘍精神)	
膠原病外来	休診	休診	池田 三知代	休診	休診	池田三知代	
救急科	坂口 治	坂口 治	林 賢	坂口 治	坂口 治	坂口 治(救急科) 長野市民病院救急センター	

外来診療担当表は、6月15日現在で作成されております。担当医師が変更となる場合は、お問合せください。

お近くの開業医による「かかりつけ医」を持ちましょう。市民病院へ初診で来院される場合、紹介状と事前予約があると待ち時間短縮につながります。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
長野市民病院・医師会 急病センター
TEL 026-295-1291
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：竹前紀樹
■編集：長野市民病院
広報誌編集委員会

看護師のための

「再就職支援セミナー」開催のお知らせ!!

- ◎対象者 ◎看護師資格をお持ちで再就職をお考えの方
- ◎講習内容 ◎講義(最近の医療・看護の動向、医療安全、感染対策、排泄・皮膚ケア等)・看護技術(採血、静脈注射、輸液ポンプ、吸引、酸素療法、フィジカルアセスメント、AED等)
- ◎開催日 ○(7・10・12・2月の各月第1水曜から第4水曜の4回連続)
詳しい日程はホームページをご覧ください。
- ◎時間 ○9:00~12:00

再就職をお考えの看護師さんに、最新の知識と技術を学んでいただき、安心して復帰いただくことをねらいとしています。受講料は無料です。まずはお気軽にお問い合わせください。(託児所あり)

お問い合わせ、お申し込みは長野市民病院看護部
(TEL:026-295-1199(代内線3204)まで)